

OPAC 通信

Transforming Okinawa's Heart into Action

Okinawa
Peace Assistance
Center

特定非営利活動法人
沖縄平和協力センター (OPAC)
沖縄県那覇市久米 1-5-18 稲福ビル 201-B
TEL (098) 866-4635 / FAX (098) 866-4638

www.opac.or.jp
(<http://blog.livedoor.jp/opac/>)

2011. May



OPACのロゴマーク
沖縄を飛び出し世界の
現場で活躍することを
イメージしました。

OPAC 理事・府本氏、「FM よみたん」番組出演

4月27日、OPAC理事の府本禮司氏が「FM よみたん」の番組に出演。東日本大震災を受け、災害時のコミュニティー内連携の重要性を訴え、沖縄における防災計画の見直しについて提言しました。番組パーソナリティーは、JICA「草の根技術協力事業、沖縄・東ティモール コミュニティー紛争予防支援協力」でもご協力いただいている「FM よみたん」仲宗根朝治氏です。

府本氏は、沖縄県知事公室長、知事公室基地防災統括官を歴任。沖縄の土地利用や都市開発、基地問題、防災政策に深く関わってきた立場から、今回の東日本大震災は、これまでの防災計画の前提を覆すものであったことを指摘しました。

さらに、沖縄でも、県や市町村レベルで防災計画の前提をまず見直す必要があり、二重、三重の情報伝達手段の確立が緊急の課題であると提言しました。情報伝達手段の確保は、生き残った住民が地域を再建し生活を立て直していくためにも必須であり、FM ラジオ等の現存する情報手段をいかに有効に利用するかを地区レベルで検証し備える必要があると強く訴えました。

沖縄ではこれまで、自然災害といえば台風、人的災害といえば米軍基地の存在から派生する事故や環境汚染等が広く危惧されてきました。しかしながら、3月11



本番中！

日の東日本大震災を受け、日本全土が災害に対する認識と備えを新たにしたこの時期、沖縄でも地震や津波等の自然災害に対する意識が高まっています。四方を海に囲まれ、離島を多く抱える沖縄県にあっては、地震や津波などで被災した地域が長期にわたって



本番直前：仲宗根朝治氏 (FM よみたん社長、ラジオパーソナリティー) (左)
府本禮司氏 (OPAC 理事、元沖縄県知事公室長) (右)

孤立する可能性があり、被災後への備えも重要な課題になることは言うまでもありません。

OPAC 一同、東日本大震災で亡くなられた方々のご冥福を心よりお祈りし、被災した方々の一日も早い生活再建に向け、沖縄からエールを送らせていただきます。「とにかくまずは生き残ること」という府本氏の言葉に、沖縄の先人たちがその歴史から学んだ「命どう宝」が重なります。ちばりよー東北！頑張ろう、日本！

OPAC お知らせ

OPAC では、「ワークショップで学ぶ紛争解決と平和構築」を来る 22 日に読谷村で開催します。紛争解決や平和構築に関心のある高校生・大学生・一般の方を広く募集しております。今回は、「沖縄の米軍基地問題」をテーマに、広島大学のみなさんとの合同ワークショップとなります。ご興味のある方は OPAC 事務局までご連絡下さい。皆様のご参加をお待ちしています！

「沖縄の米軍基地問題」

紛争解決・平和構築ワークショップ in 読谷

日時：2011年5月22日(日) 10:00~17:00

場所：読谷村商工会

参加費：高校生 500 円、大学生 1,000 円、一般 2,000 円